

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年3月6日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4694500028
法人名	社会福祉法人 建昌福祉会
事業所名	グループホーム西始良ほほえみ
所在地	鹿児島県始良市西始良1丁目39番32号 (電話) 0995-73-7855
自己評価作成日	平成26年3月6日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年3月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者のこれまでの暮らしぶりが入居した後も継続できるように支援することを大事にしている。

たとえば、これまで行きつけであった美容室や病院、お店、行き来のあった友人や近所の方々、民生委員をはじめとした協力者との関係性は、本人のこれまでの暮らしの中から築き上げられた重要な財産であるといえる。これらは、グループホームに入所したからと言って途絶えるものであってはならない。また私たちが無意識的に断ち切ってよいものでもない。関係性を継続させることや過剰な管理・無駄な制限を取り払う努力をしていくことで、私たちが掲げている理念「毎日を生きがいを持ってその人らしく」に近づけると考える。

日々の暮らしの中で、これまで行ってきた生活行事である味噌作り、そば打ち、しめ縄、門松作りなども作業を通して、人に自分の体験や技術を伝えるということが、「役割」や「やりがい」を感じてもらえる機会となり得る。これらも理念の具現化につながるのではないかと取り組んでおります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは西始良地区の住宅地に位置し、社会福祉法人建昌福祉会の第八事業部として平成25年4月1日より開設している。法人は結成36年を経過し、始良市の各地に保育園、学童保育、養護老人ホーム、在宅ケアセンター、小規模多機能ホーム、障害福祉サービス等の事業所を立ち上げ、地域の福祉に貢献している。開設にあたり、25年度は利用者確保や職員体制の充実を図るのに精一杯の1年間であったと管理者の苦勞が窺える。職員は実践研究発表会にて、法人全体の前で取り組みを発表する機会があり、モチベーションアップに繋げている。天窓をリモコン一つで操作できる最新装置を備えた新築で居室、共用空間は広くて明るい、爽快な気持ちになるホームである。また、ホームの近くには地区住民が楽しむグランドゴルフ場や小学校がある。自治会に加入し、自治会の運動会や夏祭りにも参加している。家族や友人、知人、孫、ひ孫、職員の子供達の面会が多く、利用者を家族とともに見守りながら関係継続の支援にも努めている。利用者の出来る力を活かし、ホーム内での味噌作り、ソバうち、生け花、しめ縄、門松作りに職員、利用者が一緒になって取り組み、できる喜びを楽しむ機会を支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、朝礼時に読み合わせを行い、検討会等の際に念頭に置いて話をするようにしております。	理念はコンサルタントの意見も参考に管理者の思いを込めたもので重要事項説明書に明記している。朝の申送り・毎月のミーティング時に理念や心得について確認や振り返りを行い、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入会させていただき、定期的な回覧版を持って届けるなど顔が見える関係づくりを意識しています。また自治会行事にも参加させてもらい。地域参加から始めております。	自治会に加入し、地域の夏祭り、運動会に参加している。回覧板を届けたり、散歩中に挨拶を交わしたり、グランドゴルフを見学したりして地区住民との関わりが密になるよう努力している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	お年寄りの一般的に言われる徘徊行動に職員が付き合い、地域の中を歩く際に挨拶したり、顔見知りになることで、理解を求めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度、新規開設とあって、広報活動、特に自治会の方々に知ってもらおうという点で、さまざまなご意見をいただき、行事に参加させてもらうなどの活動につながっています。	初年度は年2回の会議になっている。会議には民生委員、老人会・地域代表、元市議、行政が出席し、経過報告や入居者状況、取り組み、事故報告を行っている。参加者の意見をサービス向上に活かしている。	26年度は家族参加の定期的な運営推進会議を開催し、そこでの意見をサービス向上に活かされる事を期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議にはご参加いただき、認知症への理解や一般的にニーズの高い看取りについてもご助言をいただいています。	困難事例の相談や報告を密に行い、顔を合わせる機会を多く持ち、ベターな協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基本的に夜間以外は、施錠をせずに、可能な限り利用者の行動に合わせた支援を行っております。また、屋内においても、過剰な制限や管理が働かないように、ご家族等を含め自由な出入りを意識する等外からの目も意識しております。	重要事項説明書に事例を明記、「身体的苦痛を与え、人格を辱める等を行ってはならない」と、謳っている。ミーティングの中で管理者・職員は常に検討する機会を持っている。利用者の行動を制限することなく安全で自由な生活提供に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入居者様の声や表情、身体の傷などがないか確認するとともに、繰り返される訴えを真剣に受け止めないことも心理的な苦痛を与え虐待に当たることがあることをミーティング等でも話うようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、制度を活用している方はいない。しかし、研修等に参加し必要時に適宜利用支援が行えるようにしたいと考えております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>制度改正等により内容が変わる場合には、適宜別紙説明書類を作成し説明にあたる予定でいます。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>法人単位で年に1回は苦情要望の第三者委員を交えた検討会議を実施するように定めており、苦情要望の内訳数値を公表するようにしている。</p>	<p>原則的に、受診や買い物、外出などは家族支援で行っている関係上、家族がホームを訪れる機会が多く、相談・苦情を発しやすい関係にある。地域行事参加にも家族の支援を得ている。徘徊の再発防止や職員に対しての要望など第三者委員を交えた検討会議や職員会議にて検討し、運営に反映させている</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>新規開設事業所でもあるため、ミーティング時に極論も含め自由な意見を求めている。利用者にとっていう視点で妥当性の高いものをチョイスしながら改善を図っております。</p>	<p>毎月、法人の勉強会や全員参加のミーティングを開催している。今年度は認知症ケア研究会に参加、認知症理解の勉強に取り組む。職員も意見を発しやすい雰囲気作りに努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>研修会、勉強会、研究会を企画し定期参加を促している。また実践研究発表会を開催し、法人全体の前で取り組みを発表する場を設け、モチベーションアップにつなげております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>大きくは、資格取得支援、OJT、実践研究発表の取り組みにより人が育つ仕組みづくりを取り組み始めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>校区エリアに誕生しているネットワーク会議に参加し、同業者と一つの企画を通じて質の向上と地域連携を目的とした取り組みを実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>基本的には、入所前に面談等積み重ねながら顔見知りの関係を構築するように配慮し、不安や心配の軽減を図るようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族様の預けてしまったという後悔や申し訳なさを受けとめつつ、ご家族にできることはご協力をもらいながらともにご本人の支援をしていくことで関係づくりにつなげている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人、ご家族と話をしながら何が当面大事なのかを共に考えながら優先すべきことを決定するようにしている。その際に、他のサービスが必要であればそれを優先する。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人の気持ちやタイミングを大事にしながら「できる」ことで貢献してもらえらる機会を作るように配慮しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との接点はできるだけ多くしてもらおうようにしています。必要であれば一緒に泊まってもらうことも承諾しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	冠婚葬祭の行事にはできるだけ参加することを推奨しています。心理状態により、すべてを推奨しているわけではありませんが、現在2名の方が親族の結婚式に参加されています。また、近隣の友人の来客も大切にしています。	家族、友人、知人との交流を推奨している。家族とともに墓参りや馴染みの理美容院、デパートに行ったり冠婚葬祭にも参加している。孫、ひ孫の面会も多く、関係継続の支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者間の潤滑油になれるように職員が介入しています。しかし、互いに認知症がありすれ違いも多くありますので、タイミングやイベントごとなどのアクションも大事にしています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	新規事業所であり、まだ例がありませんが、必要に応じてご本人、ご家族のフォロー役に回ればと思っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	検討会の際には、ご本人のこれまで暮らしぶりの情報を集めるとともに、繰り返される言葉や行動から、うまく表現できない本音の部分を探るようにしています。	自分の思いを伝えきれない利用者は職員のかかわり方で感情を爆発させることもあるため、一人ひとりの利用者の情報収集、認知症についての理解を深める勉強会を重視、グループワークの中で気づきを話し合い、利用者の思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族からこれまでの仕事や経歴等含め情報収集を行うとともに、これまで支援をされてきた関係機関のもつ情報も大事にして、支援にいかすように努力しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	それぞれの暮らし方が尊重されるべきと考えるが、現実はまだ統一化された過ごし方に近いと認識している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	特に、居室というプライベート空間で起こりやすい転倒等を鑑み、家族、医師と連携を図りながら室内環境等を改善したり、服薬の調整を行うなど方針を検討している。	本人、家族の意向や希望を取り入れた個別の介護計画を作成している。本人と家族の関わりを重視したプランになっている。モニタリングは月1回、定期的には6ヵ月ごと、状態が変化した場合は随時見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>適宜記録を残しているが、情報の共有化と効率的な計画への反映には至っていない。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ニーズに応じた対応が必要な場合には、できるだけ応じるように努めている。しかしながら、組織化が図れていない面もあり、人的要因や見解の相違を埋めるなどの時間も要している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>一人一人の属する地域参加や資源活用にはまだまだ十分支援が行えているとは言えない。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主治医の定期受診の際には日々の暮らしぶりと直近のバイタルサインの記録を添付し、適切な医療が受けられるように支援している。</p>	<p>本人、家族希望のかかりつけ医を支援している。受診同行は基本、家族にお願いし、ホームからの情報提供書を提供し、適切な医療が受けられるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>緊急時以外の日々の経過については看護職員の見解も参考にしながら定期受診の際に必要な情報が行き渡るように配慮している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時には、いったん口頭で必要な情報を伝達し、入院手続き等が落ち着いた段階で必要な情報を書面にて提供している。また退院時のカンファレンスに参加させてもらい適切な情報をもとにサービス提供を行うように努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化については、その都度、家族、主治医とも話をしながらその時の事業所のレベルを踏まえてできることを伝えるようにしている。しかし、まだ新規開設事業所の未熟さもあり、高度な技術を要する状態であったり、医療ニーズが高い状態においては現実的に対応は難しい。</p>	<p>管理者の思いはあるが現段階では重度化・看取りに対応できる管理体制ではないので、不可能である。利用開始時に現状を説明し、理解を得ている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>ミーティングの中で事故発生時の対応について検討会を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>近く、防災訓練を実施する予定であるが、今年度はまだ実施ができていない。</p>	<p>災害時マニュアルは作成しているが避難、消火訓練の実施はできていない。スプリンクラー、通報装置等を設置、非常用の食料などの備蓄も用意してある。</p>	<p>運営推進会議の議題にとりあげる等して、消防署・消防団・地域住民代表者との話し合いを進め、早急な訓練実施が望まれる。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄時には、必ずいったん外に出て待つなどの配慮をしています。また、一人で入浴したいという利用者についても、安全を配慮しながら要望に応えるようにしている。	人格の尊重とプライバシーの確保についてはミーティング等で事例を用いて勉強会を実施している。管理者は職員に尊厳について常々、講話し、プライバシーを損ねない、個人を尊重したケアを実践できるよう、取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の希望に応じるように配慮しているが、まだまだ日課に流された支援の割合が多い。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の強い要望や意向に対してはそれに沿うように配慮しているが、職員側のペースに流されている面も多くある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者に対して衣類の選択を行う場面もあるが、そうでないことも多いのが実態である。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の気分やタイミングによるが、食事に関しては、簡単な手伝いをもらったり、味付けを確認してもらったり、後片付けなどの手伝いをもらうこともある。	食事のメニューは両ユニット共通で、職員・利用者の手作り味噌を使用している。誕生日には特別メニュー、手作りケーキでお祝いする。菜園で収穫した食材や運動会の弁当など、食事を生活動作を広げる場、楽しむ場とした支援に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	好みに応じて必要量摂取できるように声かけし、支援を実施しているが、献立を踏まえてカロリー、栄養バランスのチェックが今後必要。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	生活習慣に合わせた支援となっており、毎食後の方もいれば、そうでない方もいるため、個別の事情に合わせている。毎食後の推奨が課題。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の能力に応じて、夜間おむつを使用している方も、日中はトイレに座って排泄ができるように支援を行っている。	排泄チェック表を作成し、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握している。さりげないトイレ誘導を心がけ、現状維持や改善できるよう取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に応じて運動や食事の工夫など便秘の対策を行っているが、結果として薬に依存してしまう傾向がある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は午前、午後、本人の希望に応じて楽しめるように配慮している。また利用者どうしで入りたいという希望にも応じている。	入浴は利用者の希望を尊重している。ゆず湯や入浴剤などを使用し、一人ひとりがくつろいだり気分がゆっくり入浴できるように、声掛けしながら入浴時間も自由に配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	心地よい休息をとってもらうために室温調整や明るさに配慮している。夜間不眠の方に対しての日中のかかわりが課題。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	排便コントロール等に関しては、その日の排便状況等により調整せざるを得ない。職員の連携を図りながら支援を行っている。また薬情の綴りで情報の共有化を図っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	しめ縄、門松、生け花、そば打ち、味噌造りなど昔からの生活習慣の中で受け継がれてきた作業を中心として、一つに伝える喜びや役割を感じていただく機会を作っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	定期的に気分転換を図る意味も含めて、なじみの場所にドライブに連れ出すことは行っている。個別には家族にお願いして外食や法事などに連れ出してもらうことをお願いしている。	日常的にはひなたぼっこやホーム周辺の散歩を楽しんでいる。初詣や菜の花・梅の花見学等にドライブすることもある。家族支援で自宅に帰っての墓参りや冠婚葬祭、外食に出掛ける等利用者が気持ちよく生き生きと過ごせるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>多額なお金の管理は難しいことから数千円単位の少額もってもらったりしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話の要望等もあるため適宜支援を行っている。また、年賀状を出し合うなどのつながりを感じてもらおうような支援も実施している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>まだ殺風景なスペースもあるが、利用者と一緒に花を飾るなどの工夫は行っている。またマッサージ機も設置し活用していただくなどの配慮も行っている。しかし、音の面では天井が高く、音が響き不快につながることもある。</p>	<p>台所と対面式の食堂、リビング（畳スペースあり）は天井も高く明るい家庭的な温かさのある空間で窓ガラスや壁面には季節を感じとれる利用者、職員共同作品を飾っている。和やかな対人関係になるよう、凹みのある円卓テーブルを使用、居心地よく過している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関のソファと空間で過ごされる方や、畳の隅の場所を居場所にする方などそれぞれの居場所ができつつある。また、部屋に招き二人で過ごすなどの場面もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	これまで使用されてきた家具やテレビ、写真など使い慣れたものを持ち込んでもらいそれぞれが好きなように配置し使用していただいている。	居室は洋室でチェスト以外は持込みで本人の好みを配慮している。利用者の状態に応じて畳を使用し布団利用も可能である。日めくりカレンダーやテレビ、手すり等も設置し、本人が居心地よく過ごせるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関の段差と畳の段差が一番大きなものであり、その他はあまり大きな段差はない。玄関では座って靴が履けるように椅子を準備している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない